

研究に関するお知らせ

腹部解放創用ドレッシングキット使用に関する後ろ向きコホート研究

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院食道胃外科では、以下にご説明する研究を行います。この研究への参加を希望されない場合には、研究不参加とさせていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはございませんので、ご安心ください。

■研究の概要

定型的閉腹が困難な腹部緊急手術では腹部コンパートメント症候群（ACS）という術後の合併症を予防するため陰圧閉鎖療法という治療を行うことが勧められています。今まではドレープという薄いシールを工夫していましたが、腹部開放創用ドレッシングキットは術者の技量によらず、短時間で閉腹が可能で、術後の管理が容易となりました。今回、当院で行った腹部緊急手術に対して腹部開放創用ドレッシングキットを使用した症例の再縫合までの期間とその他の因子を検討し、その有用性を明らかにして、広く発信することを目指しています。

■研究期間

倫理委員会承認後～2024年3月31日を対象研究期間とします。

■研究の対象となる方

2021年1月1日から2021年9月20日までに当センター病院で腹部解放創用ドレッシングキットを使用した方

■ご協力頂く内容

本研究では診療録に記載された内容（術後の合併症、年齢、性別、手術内容等）を研究に使用させていただき、新たにご負担いただくことはございません。使用に際しては、政府が定めた倫理指針に則って個人情報厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。診療以外での採血など、患者さんに新たにご負担頂くことはございません。

■本研究の情報開示について

あなたのご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。また、本研究で収集させて頂いたご自身の情報を当院の規定に則した形でご覧いただくことも出来ます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■利益相反について

本研究において利益相反に値する状況はありません。

■お問い合わせ先

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院

研究責任者 食道胃外科 診療科長 山田和彦 電話番号 03-3202-7181(代)